

鍵本先生語る 数学の魅力 「数学は感動の連続」



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号



数学について熱く語られる鍵本先生

4月23日、宿泊オリエンテーション2日目に数学講師鍵本先生による講演会が行われた。先生は独特の授業スタイルで生徒達は出された初見の課題に四苦八苦していた。



今回、講演をしてくださった鍵本先生は兵庫県出身で京都大学理学部卒、現在は「がくえん理数進学教室」を営んでおられる。生徒達は鍵本先生に前日にそれぞれA、B、Cのいずれかの課題を与えられ、寝る間も惜しんで課題に取り組んだ。講義当日、生徒達はホテルから文芸会館に移動し、そこで講演を受けた。講演の始めに鍵本先生の自己紹介があった。その後、前日に与えられた課題をもとにした応用問題を生徒三人一組に

なり、協力しながら解いた。先生は「協力しながら難しい問題に取り組み回答を導き出すことで、努力した者への感動が得られる」ということを生徒が実感することを目的にこの課題を出題された。

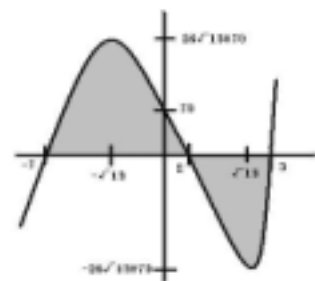
鍵本先生の話

講演会の中で鍵本先生は「数学は工具箱、または電子レンジのようであり、なくては問題ないが、あると便利でも問題なくなる。また、数学を好きになる必要は無く、使い方が分かればそれで良い」と話された。



$$y = x^3 - 39x + 70$$

この三次関数のグラフを作図し、グラフとX軸が囲む部分の面積を求めよ。



答え 極大値: - 13, 26 13+70
極小値: 13, -26 13+70
X軸との交点: -7, 2, 5
面積 : 1917/2

Q & A

- 鍵本先生にインタビューをした。
- Q 自分を数字に例えるならば、125だ。125は5の3乗ということぐらいで、色が無いから。
- Q 数学の魅力は？
- A、あまり魅力を感じないが、数学というものは感動の連続だ。
- Q 数学をしていて驚いたことは？
- A、たくさんある。他の先生も同じだと思うが、生徒に教えてから気づくことが多々ある。
- Q 自学自習の精神について
- A、とても良い。すばらしいと思う。さすが藩校からの伝統校だ。
- Q 東高生にメッセージ
- A、彦根城の中に学校があるなんて凄くやましい。一度、彦根城へ行ってみる。